

2014年5月24日
日本国際経済学会関西支部研究会
(於関西学院大学梅田キャンパス)

中国ソフトウェア企業の技術力向上とオフショア開発の変化

大阪市立大学商学部 高橋信弘

問題意識

『日経コンピュータ』2013年7月11日「三重苦に直面する中国オフショア企業」:「円安、日中関係の悪化、そして人件費の上昇」という「三重苦」により、今後中国へのソフトウェアのオフショア開発実施が難しくなる。

果たしてこの予測は正しいのか。

本稿の目的

1. 日本から中国へのオフショア開発の規模が今後どう変化するかについて予測する
2. オフショア開発が日本と中国のソフトウェア産業に与える影響を解明する

研究手法

オフショア開発に携わる日本企業及び中国ソフトウェア企業への聞き取り調査を行い、その結果を分析する。

命題 1

日本企業にとって、オフショア開発を行う最大の理由は、開発要員の確保である。そのため、日本企業は中国へのオフショア開発に大きく依存せざるを得ない状況にある。

命題 2

ソフトウェア開発に関する日本と中国との価格差が今後縮小したとしても、そのことが中国へのオフショア開発の規模縮小をすぐにもたらすわけではない。よって、日本企業が中国へのオフショア開発に大きく依存する状況は当面持続する。

命題 3

ソフトウェア開発に関して日本企業の技術力低下が起きている。オフショア開発は、そうした技術力低下の一因となっている。

命題 4

オフショア開発に伴う技術移転により、中国企業の技術力が上昇している。

命題 5

日本企業の技術力低下と中国企業の技術力上昇は、中国企業と日本のエンドユーザの直接取引を生み出すよう作用する。

結論

日本のソフトウェア業界は、現在も、そして近い将来も、中国へのオフショア開発に大きく依存せざるを得ない。そのことが、日本企業の技術力低下と中国企業の技術力上昇を引き起こしている。その結果、中国企業が日本のエンドユーザと直接取引をするようになった。つまり、中国企業による脱下請け化が進行しているのである。

ソフトウェア開発に関する日中の経済活動のグローバル化の展開

日本企業は、中国企業と協調関係を築くことによって収益を上げようとしてきた。

- 日本企業の技術力低下と中国企業の技術力上昇
- 日本市場において日本企業と中国企業の競争が生じる。
- 日本市場において価格下落圧力を発生させる。

筆者は、日本企業の技術力低下と中国企業の技術力上昇が、今後も続くと予測する。それゆえ、中国企業と日本のエンドユーザの直接取引は、今後増加するであろう。

中国企業の技術力上昇は、日本経済に大きなメリットをもたらす。

同時に、中国企業と日本のエンドユーザの直接取引増加は、ソフトウェア開発における競争激化と業界のイメージ悪化を通じて、人材確保を困難にし、日本企業の技術力低下をさらに加速させる可能性がある。

よって、日本企業は、技術力低下への対策をとるべきである。